



教育週間を終えて(お願い)

今週、「桜っ子の心を見つめる教育週間」を開催したところ、道徳科の授業参観を中心に多くの保護者の皆さんに御来校いただき感謝申し上げます。各学年の実態に応じた命（生命）に関わる道徳科の授業はいかがだったでしょうか。多くの子どもたちが、命がかえがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重することの大切さについて考えを深めることができたようです。せっかくの機会ですので、各御家庭においても、命の大切さやお子様が誕生したときの感動などについて、話題にしていいただければ幸いです。（道徳科の授業以外の教育活動は次号でお知らせいたします。）

なお、授業の様子等を動画で撮影されている保護者の方もおられました。録画した動画の視聴は家庭内に限ってお願いいたします。くれぐれも、インターネット上のSNS等に添付することがないようにしてください。

また、教育週間についての御意見や感想については、本日、配付しております「第1回学校評価の実施について」に添付しているアンケート用紙の裏面〈学校への御意見〉に御記入いただきますようお願い申し上げます。

長崎について学びました

6月18日(金) 長崎学研究所 所長 赤瀬 浩 様に講師として御来校いただき、6年生を対象とした「長崎学講座」を開催しました。長崎の古地図などの貴重な資料を使って、長崎の地形に合わせた町の成り立ちや、桜町小学校の前身である勝山小学校の建設に係る講話に子どもたちは興味関心を深めた様子でした。今後の総合的な学習の時間に生かしたり、夏休みの自由研究などにつなげたりすることと思います。

なお、裏面に6年生が書いたお礼の手紙の中から2通を載せておりますので、併せてご覧ください。



鉛筆の正しい持ち方できていますか

各学級を訪問したときに、子どもたちの鉛筆の持ち方を見てみると、親指が隠れていたりする持ち方の子どもたちが結構多く見られます。正しい持ち方をしていないと、整った文字が書きづらかったり、長い時間文字を書くと指が痛くなったりするようです。次の手順で鉛筆の正しい持ち方ができるので、お子さんと一緒に試してみてください。



癖がついた持ち方を正しい持ち方に直すことは難しいと思いますので、御家庭でも粘り強く声かけをよろしくお願いします。また、右の写真の様にダブルクリップで鉛筆をはさめば、鉛筆の正しい持ち方の補助具となりますので必要に応じてお試しください。



長崎学研究所所長

赤瀬 浩様

今日は、長崎学を教えてください、ありがとうございました。

私が特に興味を持ったことは、2つあります。
1つ目は、今、桜町小学校がたっている、この地の歴史です。桜町小の前、勝山小があったことは知っていたのですが、そこが長崎市がでる前からあった、1等地の、とても上等で立派な学校だったと知り、これからも伝えていくことができればいいな、と思いました。2つ目は、長崎の地質についてです。もともと岬だったところと平和公園のところはとても固いと知り、だから桜町小はひたし所になっているのかもしれないと思いました。

大きくなったら平和公園のところに家を建てたいと思いました。本当に今日は楽しかったです。ありがとうございました。

桜町小6年

赤瀬さんへ

6/18(金)の3校時に、長崎学講座でお話を
していただきありがとうございました。

私はこの講座で1つおどろいたことが
あります。それは、古い地図を使うとその
地形が分かるだけでなく、長崎の変化の
しかたも分かることです。今度地図を見る
時は、今後長崎がどのように変わっていくの
か予想しながら見てみたいです。

そして、私が一番心に残ったのは、地形に
合わせて道がつくられていたり、勝山小学校が
長崎市よりも先にできていたということです。

このたびは長崎についての話をいただき、あり
がとうございました。夏休みの自由研究で詳しく調べ
てみようと思っています。

